

DOYU

あおり

2023 Mar

3

vol.262



- 02 女性部会特集
- 04 会員企業紹介
- 08 新春例会報告
- 09 委員会活動報告
- 11 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 12 新会員紹介／編集後記

女性部会特集



今回は2018年度から2022年度までの4年間、女性部会長を務められた、有限会社岩木建設専務取締役 岩木節子氏にお話を伺いました。

「この4年間の取り組みを教えてください」

①まずは部会の運営を良くするために組織の見直しをしました。それに伴い規約の改正をしました。各地区（青森津軽・上十三下北・八戸）に副部会長と役員を選任し、副部会長から役員へ、役員から地区の部会員へ連絡が行き届くようにしました。役員が部会員のパイプ役

になるような仕組みづくりをして組織運営を促しました。

②部会活動は地区から吸い上げた意見を出し合い、決め事は役員会のテーブル上で行い、納得がいく運営に努めました。意見を出しやすい雰囲気にして、和やかな役員会を心がけたことで役員の成長が感じられました。

③各地区と女性部会の合同例会をすることにより、男女共同参画型を試みました。やってみた結果ですが、女性報告者が多かったのですが、男性報告者や男性会員にも参加して欲しいと感じました。女性男性関係なく全てが繋がっているのです。

④2022年6月の島根同友会設営第25回女性経営者全国交流会へは女性だけでなく男性の参加や、中同協女性部連絡会への積極的な参加を促しました。

⑤顔の見える部会活動の一環として、顔写真つき部会員名簿を作成しました。

「どのような想いでやってきましたか」

4年前は、さまざまな理由で各々が意見を発言しづらい状況があり、部会の中身が進展していないと感じていました。さらにコロナ禍の影響でいろいろな制約がありリアルでの活動が制限され、人と出会うきっかけが少なくなりました。女全交や連絡会もオンライン開催となったことで自身の感覚を鈍らせ、エネルギーが思うように湧かなかつたり葛藤したり路頭に迷う時もありましたが、役員や部会員の方にサポートしていただきながら4年間が過ぎました。

女性部会は、部会員同士が経営に悩んだ時の相談相手になったり、ビジネスの仕方をお互いに学び合う仲間になったり、困った時やつまずいた時は助け合ったりして、駆け込み寺のような仲間でありたいと思いました。そして「部会活動に参加してよかった」と言える、ニコニコした笑顔の集いであって欲しいとの想いがありました。



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>





【女性部会の良いところを 教えてください】

- ① 素敵な女性、多様な女性と出会う機会があり、自分磨きができます。私自身、たくさんの素晴らしい女性経営者と出会いましたが、一人例をあげさせていただきますと、自社のモデルハウスのことで悩んでいた当時、中同協の定時総会でお会いした埼玉の株式会社デリモ（旧クリタエイムデリカ）の栗田美和子社長にお会いしました。営業戦略・戦術だけではなく、生き方そのもの、やり抜く姿、エネルギーに感銘を受け、私自身の生き方も変わりました。
- ② 女性同士であることで、相談しやすい、共感できる、ということはあると思います。
- ③ さまざまな方と出会う中で、ヒントをもらえたりお手本にできたりすると、自分のやりたいことを見つける機会にもなります。
- ④ 部会の学びを自社に活かし会社を良くすることができます。当たり前ですが女性部会は女性しか



記・木村 美栄子

女性部会は「宝の山」だと思います。常時部会員募集中です。入会をお考えの方は事務局またはお近くの女性部会員へお声がけください！

【最後にメッセージを ひとことお願いします】

入れませんので（笑）、女性というだけで山ほどのチャンスがあり、特典があります！



屋根・外壁・リフォーム工事 板金工事の専門会社です。

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼22-17 TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833

屋根があれば人は集まる。

有限会社 工藤板金工業

会員企業紹介

シャッターが下ろされるその前に！ 『まちおこし人』がつなぐ事業承継

地酒の駅 そうま屋米酒店

代表 相馬 康 穂 さん

〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町湯野川原 109-7
電話：0172-48-3034 HP：https://www.oowani-soumaya.com/

大鰐まちづくり笑社株式会社
2021年3月設立。資本金350万、従業員数5名。
地酒の駅 そうま屋米酒店内

Craft&Café RAITO
〒038-0211 南津軽郡大鰐町大鰐前田 68-10 電話：0172-55-0448



2022年11月23日、津軽地方の小さな町に新しいカフェがオープンしました。カフェの名は「Craft&Café RAITO（ライト）」。そこには「日本の田舎町再生のお手本になる」という情熱に溢れる一人の津軽支部会員の想いが詰まっています。人口流出の歯止めと地域再生という全国の地方が抱える課題に対する一つの解決策について地酒の駅 そうま屋米酒店・代表の相馬康穂さん取材しました。

津軽地方の南端に位置する大鰐町は人口8千人余りの温泉とスキーの町です。スキーブームの全盛期には大変な賑わいをみせた同町ですが、現在では駅前も寂れ、高齢化が加速。温泉街として飲食店や土産物店が立ち並んだエリアも元気が失われつつありました。

相馬さんは20年以上前から「全国の田舎町再生」をキーワードに活動を続けてきました。2021年3月には一つの通過点として100%民間出資の地域商社「大鰐まちづくり笑社（株）（以下、笑社）」を立ち上げ、アンケートを実施して後継者のいない町内事業所を抽出。事業所がシャッターを降ろしてしまう前に事業承継に取り掛かるという取り組みを始めています。相馬さんは「一度、閉店してしまうと再開するのは困難。そうなる前にスピード勝負で後継者をつくっていくことが大切」と語ります。カフェはその第1号としてオープンしました。

笑社は一例目として大鰐駅前で1960年から続く「山崎おみやげ店」の事業承継に着手しました。店主の山崎宏子さん（86）は後継者がなく、年齢とともに廃業せざるを得ない状況にありました。街の顔とも言える駅前から店舗がなくなることへの危惧した笑社では、相馬さんの人脈から起業を目指す、共に24歳で青森市に住んでいたKINARIさん、YUIさんという男女2人を社員として採用、カフェとクラフト雑貨を扱う店舗をオープン

青森県知事許可（般-24）第100121号
Oct, 有限会社 オクト

〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

■内装仕上工事（軽鉄・ボード・床・クロス）■タイル・石工事■ビル・住宅リフォーム工事

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
地域に貢献します。



鈴木建設工業株式会社

〒033-0062 三沢市新町三丁目31番地2201
tel. 0176-53-3078 fax. 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp

会員企業紹介

ます。ひとつ屋根の下で両者が営業しながら、ゆるやかに事業承継を進めていくということが大きな特徴になっています。店名の「RAITO（ライト）」には「周囲を照らす明かり（Light）になる」と「店舗の右側（Right）を間借りして商売をする」という意味が込められています。



することにしました。店内には若手クラフト作家の作品が並び、兵庫県神戸市に本店を置く「La la ringo（あら、りんご）」のアップルパイ、自家焙煎のコーヒーなどを提供しています。店舗の一部は山崎さんが土産物や飲料・軽食を扱う販売スペースが残され、二つの店舗が共存してい

「大家さん共働型事業承継」と名付けられたこの事業は、全国の地方が抱える問題に一つの解決策を示しています。地域商社の社員として若者を雇用し、独立に向けた支援を行いながら、高齢化の進んだ商業エリアの若返りを図り、地域の活性化に貢献することができま



崎さんは「いい若い人が来てくれてありがたい。もう（店を）閉めてしまおうと思っていたところにこの話をもらって嬉しいですよ」と目を細めます。カフェの店長を務めるKINARIさんは「もともと自分で商売をしたいという思いがあったので、

チャンスと思い（笑社に）入社しました。移住することにさほど抵抗はありませんでしたし、住んでみるととても住みやすい町です。オープンして驚いたのは地元のお爺ちゃんやお婆ちゃんを通してきてくれることです。孫のような存在として接してくれるのが嬉しいですね」と話してくれました。笑社ではこの取り組みを順次、後継者のいない町内事業者に働きかけ、将来的には県内から県外へも動きを広げていく計画です。既に視察の申込みも舞い込んできているといいます。発想から20年越しに実現したこの取り組みに相馬さんは「ここを通過点として『日本の田舎町再生のお手本づくり』は始まったばかり。地域からのアプローチで日本に元気と笑顔を増やしていきたいですね」と意欲をにじませます。

記：事務局



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21

東管工業株式会社

代表取締役 蛸沢 宮 行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

会員企業紹介

地域に根ざした生花店として

有限会社 田島生花店

専務 脊戸潤子 さん

〒034-0011 青森県十和田市稲生町 18-5

電話 0176-23-8783

ホームページ <https://tashima-seikaten.hanatown.net>

社員数 6人



Q1創業のきっかけは何ですか？

創業のきっかけは、戦後まもなく（昭和22年頃）祖母が魚や家具、切り花などいろいろな商売をやっていた中で水盤にお花を生けて飾っていたところ（いわゆる生け花）、米軍の方が器ごと買っていったことが楽しくて花屋を始めたと言いました。今という作り置きのできるフラワーアレンジメントですね。気がつけば創業から75年になります。

Q2どのような経緯で3代目になりましたか？

生まれた時からお花に囲まれた生活をしていたので、将来お花の仕事で生きていくのだと感じていました。高校を卒業してから上京し一年間JFTD学園フラワーガレッジで学び、その後東京の大手百貨店の花店に勤め、ギフトのお花を主として仕事をしていました。このまま花屋でいいのか・・・と疑問に感じた時期もあり、違う業種の仕事にもチャレンジした時もありましたが、友達のすすめでフラワーデザインコンテストに出場し地区大会で勝ち上がり、全国大会に出場できたことで、花のたのしさを改めて感じる事が

できたのが今も花屋を続けているきっかけとなったのだと思います。同時期に父が亡くなり、将来家業を誰が継ぐべきかを姉と話しあい、自分が家業を継がなければいけないと覚悟を決めそれから更に数年東京で修業を積み、27歳で青森に帰ってきました。

Q3地元に戻ってきたときはどんな印象でしたか？

帰ってきたときは「東京で喜ばれた商品（デザイン）を十和田でも！」





水の問題、迅速解決!!



もう、水まわりの心配はさせません。
☎017-766-2421



有限会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575, FAX 017-744-0579

南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地藏平1-578
TEL 0178-38-9294, FAX 0178-38-9295

と張り切って販売しましたが思ったより反応が良
くなく苦戦しました。どうすれば東京で流行つ
ている商品をお客様に喜んでいただけるのらう...
と悩みました。ショック、という感情に近かつた
と思います。もう一つは商店街を歩いている人が
少なくなっていた事でした。これもまたショック
でした。人が歩いていない商店街で店舗を構えて
商売をしていても良くなるはずがない...。ま
ずは商店街を盛り上げるためにできることを探し、
チームを組んで店舗紹介のチラシを手書きで発行
することになりました。そのほかにも商店街のイベ
ントを行うなど、横のつながりを大切に商店街の
皆さんで力を合わせてやったことが当時の思い出
です。改めて商店街で商売するためには横のつな
がりが必要なのだと今でも思います。現在私が出
来ることとして、心にゆとりをもち優しい気持ち
になってもらえるように、お店にお花を飾ってい
ただこうと考えています。

Q4現在の課題はなんですか？

現在はインターネットの普及でネットでも気軽
に花を購入できるので、路面店としてどうやって
勝ち残っていくのか、そして花業界をどのような
方向に持っていくかが課題だと感じています。路
面店としての良さであるお客様とのコミュニケー
ションを第一に考え、気持ちよく仕事ができる環
境を残していきたいと思っています。それにあわ
せてSNS等でフラワーアレンジメントなど多種
多様な写真を見ることが出来る昨今の環境におい
て、お客様からネットの情報を基に依頼をいただ
くことが多くなってきました。プロとして、その
要望以上の商品を提供し喜んでいただけるよう、
技術はもちろん、流行の情報収集も欠かさず行っ



ています。今後は技術の継承に関し
ても本格的に取り組んでいかなけれ
ば、と感じています。

Q5これからの展望は 何ですか？

現在はドライフラワーやプリザー
ブドフラワーなども出回っています
が、私たちは基本的に生花の販売に
力を入れ、丁寧に作り、生花の良さ
をより多くの方々に広めていける仕
事をしていきたいと思っています。
生花は日々変化する表情や香りを楽
しむことができるので、心の支えに
もなります。新型コロナウイルス感
染症が大流行し、いわゆる「おうち
時間」が増えた時期には今までお花
を飾ったことがないというお客様
が、お店に足を運び、お花を選び、
嬉しそうにお買い物されていくこと
が増えたのが印象的でした。こうい
うご時世だからこそ生花の魅力を知
っていただき、地域密着型企業とし
て生活に彩りを添える事業を展開
していきたいと考えています。



記：大和 英樹



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ

Web <http://www.sancom.co.jp/>

青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
TEL 0178-21-1255

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



2023 新春例会 in 津軽 新春講演

実行委員長あいさつ

(株) エーアイサイン

代表取締役 石澤 暁夫

皆様、雪深い中遠路新春例会にご参加いただきありがとうございます。ゲスト参加も含め129名で盛大に開催できましたこと心より感謝申し上げます。

聖愛高校野球部原田監督のお話は経営者にとって実に身のあるお話でした。0から地元選手でチームをつくり、周囲の嘲笑の悔しい思いをバネに甲子園出場を果たしました。しかし指示命令でしか動けない野球部出身者は社会で役に立たないというレッテルから脱却すべく、自ら考え行動するためのノーサイン野球の導入。その取り組みは、短期間で結果を出さなければならぬ環境にも関わらず、成長するに足らない環境に必要と切り切る原田氏の結果を恐れず果敢にチャレンジする姿勢に懐の深さを感じ、経営者にとって大事な気づきと勇気をもらいました。楽しいということは自分の判断で行動し成果が出て成長出来ること。「野球を通して社会に役立つ立派な人を育てる」という原田氏の人財育成の真髄に触れました。



テーマ

『勝ち』よりも大切な

『価値』がある

ノーサイン野球に込められた

人づくりへの思い

弘前学院聖愛高等学校野球部

監督 原田 一範 氏



旧金木町の出身で中学時代は補欠でした。人間教育に力を入れていた弘前工業高校の野球部に共感し、同校に進学。3年生の時にはサードでキャプテンでしたが、最後の夏の初戦に自分のエラーで敗退してしまおうという挫折を味わいました。卒業後は介護の仕事に就きながら、弘工野球部のコーチを務めていましたが、ご縁があつて共学化の1年後に創部された聖愛高校野球部の初代監督に就任しました。

当初は部員10名、そのうち野球経験者が半分という状態でした。しかし、私は「青森県人だけのチームで甲子園に行く！」と宣言します。デビュー戦は23対2でコールド負けを喫しましたが徐々に力をつけ、創部3年目には地元の強豪校に勝利することができ、5年目で県大会ベスト4になることができました。しかし、その後は10年経ってもあと一歩のところまで全国大会に出場することができませんでした。2011年から指導方法を徐々に

変え、生徒が主体性を持って練習に取り組む形にしていきました。そうして2013年に初の甲子園出場を勝ち取りました。そこで目にしたのは野球に特化した学校ばかりが集まり、人間性に乏しい、勝利至上主義の人たちでした。私は、高校野球は人間教育の手段だと考えています。野球を通じて人間的な成長が得られなければ意味がないと思います。2017年にドミニカ共和国へ視察に行った際には衝撃を受けました。小学生は遊びとしてただただ野球を楽しみ、中学生になってやっと基礎的な技術を教わります。そして高校生になったらメジャーリーグのトライアウトに向けた練習を積むのです。日本は小さな頃から「勝つ」ための野球を詰め込まれ、野球を楽しむことを忘れてしまっているように思います。

現在、わが野球部は試合中に私からサインを送ることは一切ありません。試合前のミーティングは時間を掛けて行いますが、プレイボールの音がかけると選手たちが自ら「選んで実行する力」を発揮して試合に臨みます。グラウンドの外でも人間力を伸ばすための取り組みを進め、野球が楽しい、好きだという気持ちの醸成を通して豊かな人づくりを考えています。



- モニュメント
- デザイン
- ネオン
- サイン

ART DESIGN

株式会社

エーアイサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516

Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoaomori.ne.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3

☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附 田 久 志
(株)青北建設・代表取締役社長

12月に来期以降に経営指針を創る会の受講を検討している会員企業に対するオリエンテーションを開催しました。講座の流れや費用、大まかなスケジュールを解説し理解を促しました。1月からは第20期の受講検討企業に対して具体的な資料作成などについて説明を行い、受講申込を受け付けています。

昨年発行された「企業変革支援プログラムVer.2」は経営指針成文化後の実践にたいへん役立つ内容となっていることから、新年度からの運用促進を計画しています。それに先立って3月11日に修了生を対象とした勉強会を実施します。

共同求人委員会

委員長 花 田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

共同求人委員会の2022年度活動方針「オンラインによる企業見学・説明会」「インターネット受入れ」「企業のPR動画作成及びSNS上公開」は、未だ終息が見えない状況の中での活動でした。結果として、オンラインによる企業見学・説明会は委員企業を中心に作成中であり次年度の予定です。また、インターネット受入れは今年度2社で受入れ、社内での体制づくりには大きな成果を残したようです。そして求人企業情報誌「Wing」は我が委員会として継続発行していきたいと考えます。今年度予定のむつ・小川原財団助成金による企業PR動画作成は只今募集中で早めの申し込みをお願い致します。最後に「人づくり、企業づくり、地域づくり」の実践活動である共同求人委員会を今後ともよろしくお願い申し上げます。

社員共育委員会

委員長 佐々木 佳 弘
ササキ石油販売(株)・代表取締役社長

社員共育委員会は、コロナ禍からの活動再開以来全てオンラインで委員会を開催していましたが、12月は望年会も併催することもあり初めてリアル開催できました。

Zoomでも大きな支障なく委員会活動が出来ていますが、やはりリアルで顔を合わせての委員会は盛り上がりです。

今年度春からの活動振り返りと今後の活動方針・計画について意見交換。

リアル委員会後の懇親会は雪降りでしたがとても楽しく開催できました。十和田の会員企業さんも偶然お店に居合わせて、そのまま社員共育委員会に入るという嬉しいサプライズもありました。

来年度は、より会員企業・委員会メンバーの為になる活動を計画中です。案内が届いたら「参加する」に○をつけて返信するだけで申込みは完了するので、事務局からの案内を楽しみにお待ちください。

共に生きる障がい者問題委員会

委員長 立 崎 文 江
(一社)日々木の森・代表理事

「障がいを持った人と共に生き、働くことが当たり前の社会を目指す」と言う委員会の目的の下、今年度もシリーズセミナーを開催する事が出来ました。

今回は各回でテーマを分けて開催し、ワークショップ形式でわかる・つながる大切さを実感して頂けたと思います。

秋の経営研究集会では分科会を担当し報告者の京都同友会 前川順氏のサポートにより、児童養護施設との新たな繋がりができ活動の幅が広がりました。

障害者の実習受け入れ可能企業の県内マップ(Google map)の作成も着々と進み新年度に向けて公開を目指していく予定です。

委員会活動紹介

広報委員会

委員長 大和 英 樹
(株)マルヤマ・代表取締役

広報委員会は、12月15日に八戸市にて委員会を開催しました。(3名参加) 委員会の内容はDOYUあおもり3月号の紙面構成とそれに伴う執筆担当と取材担当を決めました。

取材活動については特集記事では女性部会長の(有)岩木建設 岩木 節子さん、企業紹介では津軽支部のそうま屋米酒店 相馬康穂さんと上十三支部の(有)田島生花店 脊戸 潤子さんに取材を行いました。

今年度の特集記事で青森同友会の各委員会の目的や考え、活動内容のお話を聞かせて頂き、同友会活動について深く知ることが出来ました。委員会活動は、自社の課題解決に特化して具体的に行動できる環境が整っている中で、私もこれからは積極的に参加していきたいと感じました。特集記事にしましたがページの都合上載せきれない部分もたくさんありましたので、今後引き続き委員会の情報発信には力を入れていきます。

次年度の組織体制に関してですが広報委員長を津軽支部の(株)加藤商店の加藤 人士さんに引き継ぐことに致しました。私は広報委員としてサポートしますので、引き続きよろしくお願い致します。

女性部会

部会長 岩 木 節 子
(有)岩木建設・専務取締役

11月14日、『丸喜阿保商店と私』と題して(有)丸喜阿保商店の阿保泰子さんの報告と新店舗の見学例会を行いました。夫である社長と社員の中で自分の位置を見極めながら社長を支える信念をもった『私』の報告終了後は新店舗に移動し見学。種類が豊富な海苔は黒光りし厚く美味で更には同友会員の商品も陳列されており、仲間との繋がりが感じられました。

1月19日には、八戸支部との合同例会で兵庫から(株)be love companyの西良旺子社長を招き『大変換機の今、会社の未来は“ビート”で決まる』をテーマに学びました。



3月17日は第21回女性部会総会後にオープン講演があります。福岡から(株)プロデュースの中原亜希子社長を招いて『ダイバーシティ&インクルージョンと女性活躍』をテーマに介護事業を通しての人づくりで、誰もが活躍する社会・会社づくりに挑戦し続ける女性らしい愛情と強さがにじみ出てくる講演です。男女問わず、皆様のご参加をお待ちしています。



青年部会

部会長 觸 澤 篤 司
(株)アイティワーク・代表取締役

青年部会は、昨年7月に発足してから半年以上が経過しました。

今年度は、他県の青年部会から報告者をお招きして合同例会を開催したり、東北ブロックや全国の行事に参加したりと、他県交流を主体で活動してきました。お招きした報告者は、秋田、岩手、宮城、福島と4県に及びます。また、他県行事としては、6月に仙台で行われた「第3回 東北青年経営者フォーラム」宮城、9月に行われた「第50回 青年経営者全国交流会」兵庫に参加し、全国の同年代の経営者と交流してきました。

来年度も既に、6月24日に「第4回 東北青年経営者フォーラム」福島、9月14・15日に「第51回 青年経営者全国交流会」広島」の開催が決定しています。

全国の熱量のある元気な経営者と積極的に交流し、青年部会を自社や地域の発展のきっかけを得るために大いに活用していきたいと思っています。

広告物製作施工



株式会社エアアンドエム

〒031-0823 青森県八戸市湊高台3丁目3-3
TEL0178-35-0789 FAX0178-35-0788

ニッポンの窓をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADO ショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



～共に生きる障がい者問題委員会コラム～ 実際の障害者雇用(企業の反応)

株式会社A-Run(就労移行支援サービス事業) 代表取締役 齋藤 康生

私はこれまでの就労移行支援事業を通し、8年間で51名の障害者を関係各機関と連携を図りながら、公的機関を含む一般の事業所へ、障害者専用求人に応じて雇用していただきました。今回は法定雇用率に関係がない小規模事業所に雇用された方と事業所における評価について紹介いたします。

1. 事業所と就業の概要

- (1)飲食店:創業100年の老舗
- (2)従業員数:店主、他5名+本人(以下、「Aさん」といいます)=全7名
- (3)Aさん :精神障害1級(傷病名:うつ病)
作業達成度・巧緻性は高いが、自己肯定感が低い
- (4)就業時間 08:30～15:30(うち60分休憩)、
- (5)休 日 土曜日・日曜日、通院日(月2回)
- (6)就業内容
 - ①08:30～09:30 清掃(店内・トイレ3カ所)、秋は落ち葉除去など
 - ②09:30～11:00 厨房清掃と鍋・食器洗い
 - ③11:00～12:00 休憩
 - ④12:00～15:30 食器洗い



2. 関係各機関の連携支援

- (1)Aさんが所属の就労移行支援+就労定着支援(固定職員が定着支援担当)
- (2)障害者就業・生活支援センター(以下、「ナカポツ」といいます)
- (3)青森公共職業安定所 専門援助部門によるチーム支援(以下、「HW」といいます)

3. 実際の障害者雇用と事業所評価

(1)障害者雇用

当該事業所が青森市役所へ「障害者を雇用したい」ことを相談。同行政機関より、HWを介しナカポツに連絡が入る。そこから該当の就職希望者がいないか就労移行支援に情報があり、10日間の職場実習を2回行い雇用につく。

雇用事業所では、10日×2回の職場実習だけでは、Aさんの障害特性を理解するまでには至らず、所属の就労移行+定着支援事業所ならびにナカポツから順次、情報や対応方法を入手しながら雇用継続していた。

(2)事業所における就業評価

まじめな性格からか、指示されたこと以外も「やらなくてはいけない」という使命感が非常に強く感じた。そこは支援者が必要時来店し相談や助言してくれていた。また手先が器用で何にでも取り組んでくれ、店としては非常に助かっている。時として(すべて完璧にできていても)「何もできない。私には無理!」と否定的で投げやりな言い方をすることもあったが、支援者より、障害の特性や「べき論(～すべき)」が強いということを知った。雇用して3年経った今でも対応の面で苦慮することもあるが、支援者に相談することで解決することが多い。

もっと前から障害者雇用についてのシステムを知っていれば良かったと思った。



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【上十三支部】
(株) エイ・ジェイ・アイ
取締役専務
齊下 恭嘉

すべてのお客様へ日々安心できる保険代理店を目指しています。カーリースもエイ・ジェイ・アイへ。

〒034-0091 十和田市西十一番町 24-19
TEL:0176-22-3511 FAX:0176-24-0887
URL:https://aji-hoken.com/



【青森支部】
アートホテル青森
支配人
上村 敦

宿泊、会議、宴会と、皆様のご来館を一同お待ちしております。

〒030-0802 青森市本町 2-1-26
TEL:017-775-7111 FAX:017-775-7181
URL:https://www.art-aomori.com/



【青森支部】
(株) 洋電社
専務取締役
川山 初美

電気工事会社です。キャッチコピーは「電気を、美しく、流す。」です。

〒030-0823
青森市橋本 3 丁目 15-1
電話:017-77-6577



【青森支部】
株式会社 秋田金属工業
代表取締役社長
白石 冬輝

建築物金物全般の製作～塗装まで一貫生産しています。

〒030-0901 青森市港町 3 丁目 8-2
電話:017-743-0290 FAX:017-742-4033
HP: http://akikin.com/

【八戸支部】
中村リノベーション
代表
中村 章

リフォーム事業、館鼻岸壁朝市出店(柴菊芋販売)、米作付(セラミック利用)

〒039-1168
八戸市八太郎2丁目 2-13
TEL & FAX:0178-28-2144

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

今年度も取材や執筆の協力をしていただき本当にありがとうございました。そして今年度を持ちまして広報委員長の役目を終えることになりました。今までありがとうございました。後任は津軽支部の(株)加藤商店の加藤 人士さんです。私は引き続き広報委員として活動していきますので引き続きよろしくお願い致します。


有限会社 カワシタ電業
電気工事 消防施設の設計、施工
むつ市中央2丁目21-1
TEL.0175-29-5611



釜臥山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」